

# 進捗状況報告シート

(2011年度・大学)

担当部局は   ☆印の箇所を記入してください。

## I. 評価項目・要素と担当部局

対象部局	人間福祉学部
大項目	6 教育内容・方法・成果
中項目	6.4 成果
小項目	6.4.1 教育目標に沿った成果が上がっているか。
要素	学生の学習成果を測定するための評価指標の開発とその適用 学生の自己評価、卒業後の評価（就職先の評価、卒業生評価）
小項目	6.4.2 学位授与（卒業・修了判定）は適切に行われているか。
要素	学位授与基準、学位授与手続きの適切性 学位審査および修了認定の客観性・厳格性を確保する方策（院）（専門）

## II. 自己点検・評価(2010.5.1～2011.4.30の進捗状況報告)

### 《目標・指標》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の評価を行っている。進捗評価はA～Dの4段階とし自ら評価した。A～D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。  
 B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。  
 C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。  
 D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 授業時間内におけるコメントカードによる学生の理解度・到達度を全科目で確認する。	→コメントカードによる学生の理解度・到達度確認の実施。	B	B			
2. 学部における成績上位者を公表する。	→成績上位者の公表。	A	A			
3. 専門的人材を養成できたかどうかを評価する。	→社会福祉士・精神保健福祉士の国家試験資格取得者の合格率、中学校・高等学校教員免許取得者数、公務員試験合格者数、初級障害者スポーツ指導員資格・キャンプインストラクター資格取得者数、福祉・健康関連施設・機関への就職率、福祉・健康・国際援助関連NPO・NGO団体への就職率、大学院進学率、社会起業の立ち上げ数。	—	—			
4. 中学校・高等学校教員、公務員、福祉・健康関連施設・機関、福祉・健康・国際援助関連NPO・NGO団体といった教育目標に合わせた就職を実現する。	→就職の実績数値。	—	—			
5. 総合的な質的評価を開発する。	→総合的な質的評価の実施回数。	D	D			

☆

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
	→					
	→					

### 《現状の説明》 ※ 全小項目について記述が必要

小項目6.4.1	6.4.1 教育目標に沿った成果が上がっているか。 (説明) 各授業においてコメントカードを用いた学生の理解度、到達度の把握に努めている。資格取得者の合格率、教育目標に合わせた就職先等については完成年度を待って確認する。社会福祉士・精神保健福祉士の受験資格取得者の合格率や、各種教員免許取得者数についても完成年度を待って確認する。
☆ 小項目6.4.2	6.4.2 学位授与（卒業・修了判定）は適切に行われているか。 (説明) 学位授与基準、学位授与手続きについては適切に措置している。
その他	

《評価指標データ》

- 各学部における学生の進路状況
- 一括申請による教職免許状取得件数および取得者実数
- 日本学術振興会特別研究員応募者の有資格者に占める割合
- 在学生のうち「この大学で人生の一時期を過ごすことが、将来にとって役立つと思う」人の比率
- 修士学位・博士学位・専門職学位の授与数
- KGPSの修士学位・専門職学位の授与数
- 3年卒業の適用者数
- ジョイント・ディグリーの授与者数
- 標準修業年限未満の修了者の数

☆ 追加データがあれば追加してください。

◎効果が上がっている事項 ※目標の進捗評価が「A」の場合は必ず記述してください。

【点検・評価(1)】効果が上がっている事項 注)出来るだけ内容を裏付ける客観的根拠を記述してください。

小項目6.4.1	成績上位者は履修単位数制限が緩和されるため、学習機会が増加している。
☆小項目6.4.2	
その他	

【次年度に向けた方策(1)】伸長させるための方策 注)出来るだけ手順や方法を明確にするなど行動計画を具体的に記述してください。

小項目6.4.1	今後もこの方針を継続する。
☆小項目6.4.2	
その他	

◎改善すべき事項 ※目標の進捗評価が「D」の場合は必ず記述してください。

【点検・評価(2)】改善すべき事項 注)出来るだけ内容を裏付ける客観的根拠を記述してください。

小項目6.4.1	
☆小項目6.4.2	
その他	目標の5で設定した総合的な質的評価の開発は、まだ実行されていないため、今後、国家試験資格取得者の合格率や就職状況等を総合的に勘案した質的評価法の開発について検討する必要がある。

【次年度に向けた方策(2)】改善方策 注)出来るだけ手順や方法を明確にするなど行動計画を具体的に記述してください。

小項目6.4.1	
☆小項目6.4.2	
その他	国家試験資格取得者の合格率や就職状況等を勘案した総合的な質的評価について検討する。

◎自由記述

【点検・評価】&【次年度に向けた方策】

☆その他 (自由記述)	
----------------	--

### Ⅲ. 学内第三者評価

#### ＜評価専門委員会の評価＞

##### 【学外委員】

○「現状の説明」6.4.2の「適切に措置」の判断の根拠を示すような具体的な記述が望まれます。「目標」3、4の指標は意欲的なもので、今後の展開が期待されます。

##### 【学内委員】

○教育成果については、完成年度になると、最初の結果が出てくるので、それまでに評価方法などを検討しておくことが期待されます。  
○目標3、4は、1期生が未卒業のため評価不能ということですが、2012年3月の卒業待ちではなく、早めのデータ収集が期待されます。また、本シートの「4 教員組織」の「小項目4.0.1」でも明らかにされているように、完成年度の翌2012年度から新カリキュラムが施行予定とされます。この点と、2011年度までの旧カリキュラム下での成果の評価との関係がどうなるのか、の説明がなされることが期待されます。ちなみに、目標2は、「公表」による学習効果の増大を狙ったものと思われませんが、小項目6.4.1の説明は、「公表」制度の目的とはややずれています。  
○小項目6.4.1の効果が上がっている事項の内容は、本項目の内容ではないように思います。  
○卒業生が出ていませんが、小項目6.4.2については、大学基準協会の留意すべき事項を参照してください。この観点での記述は可能かと思えます。

##### 【大学基準協会：評価に際し留意すべき事項】

##### ○小項目6.4.1

基盤評価：なし

達成度評価：「学生の学習成果を測定するための評価指標の開発及び教育内容・方法等の改善への活用に努めている」

##### ○小項目6.4.2

基盤評価：「卒業・修了の要件を明確にし、あらかじめ学生が知ることができる状態にしていること」「学位授与にあたり論文の審査を行う場合にあつては、学位に求める水準を満たす論文であるか否かを審査する基準（学位論文審査基準）を明らかにし、これをあらかじめ学生が知ることができる状態にしていること」

達成度評価：「学位授与方針に従って学位授与を行っている」

### Ⅳ. 学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

##### ○小項目6.4.2（説明）

学位授与に関しては、入学後すぐに行うオリエンテーションにおいて説明し、かつ学生に配布する履修心得の中でも卒業要件を明確に公示している。

##### ★ ○効果が上がっている事項小項目6.4.1

成績上位者は履修単位数制限が緩和されるため、学習機会が増加している。をその他へ移行する。

##### ○伸長させるための方策小項目6.4.1

今後もこの方針を継続する。をその他へ移行する。